



拳の花こぶし
 歓迎 友愛
 信頼 自然の愛

文責 南

高知大学医学部学生による健康教育の授業

12月3日(木)の五時間目に、高知大学の菅沼教授と4回生5名が本校に来て、全校児童対象に「睡眠の大切さ」について授業をしてくださいました。電子黒板を使って、〇×ゲーム形式で楽しく授業を進めてくれ、1年生から6年生まで発達段階の異なる子どもたちのユニークな意見も大切に受け止めてくれていました。授業の終わりに、ほとんどの子どもたちが授業についての感想を述べることができました。学生さんたちは、優しい雰囲気がとても素敵なお方たちでした。将来は優しい医者さんになってくださいとお願いしたことでした。



黒潮町社会福祉大会で意見発表「ぼくにできること」



11月29日(日)に、保健福祉センターで、社会福祉大会がありました。その中で、拳ノ川小、佐賀小、大方中の3つの学校の代表が意見発表を行いました。本校からは今西蓮君が「ぼくにできること」というタイトルで意見発表をしてくださいました。あつたかふれあいセンターのおじいちゃん・おばあちゃんたちとの交流について、また、蓮君の元気なおじいちゃんとおばあちゃんについて楽しく紹介をしてくださいました。本人は緊張をしたと言っていましたが、とてもしっかりした態度で発表できていました。蓮君、みんなの代表を務めてくれて、ありがとう！

12月9日 コミュニティ理事会

9日(水)の午後7時からコミュニティ理事会を行いました。まず3つのコミュニティ委員会のこれまでの取り組みについての報告後、学校経営計画の中間検証報告、全国学力調査及び標準学力調査の結果報告をさせていただきました。そして、三学期の「心を育てる参観日」の予定と、学校アンケートと学校評価書についての協力依頼について説明をさせていただき、ご質問やご意見をいただきました。

☆ご意見等

- ・地域対象のアンケートの項目の中で、学校のことをよく見聞きしないと答えられないような項目があるので、アンケートの文言をもっとわかりやすく、答えやすいように変えてはどうか。
- ・校舎・体育館周りの夜間灯、学校へ上がる坂道下の街灯、校庭周辺の道沿いの街灯がついていなかったり、消えていたりすること(故障か)について、委員会や町に要望していく。(災害時の避難場所になっているのに、今のままでは危険ではないか)
- ・学力調査結果の平均と言っても、子どもの数が少ないとその数値は年によってかなり変わってくると思うが、今年度の結果を見ると、学校もショックだったのではないか。
- ・小さい学校というのを、マイナスではなくプラスにとらえ、きめ細やかな取り組みを続けてほしい。

標準学力調査及び全国学力・学習状況調査の結果

4月21日に実施した標準学力調査（2～5年生対象）と全国学力調査（6年生対象）の結果についてお知らせします。12月9日のコミュニティ理事会でも詳しく報告させていただき意見もいただきました。

◆標準学力調査（正答率）の結果について（2015年度）〈2～5年生で実施〉

	国語（2～5年）	算数（2～5年）	理科（4～6年）
拳ノ川小学校	79.3	74.8	69.1
全 国	76.1	76.4	72.3

○国語については、

国語は、全国より+3.2ポイント

観点別に見ると、2年生については、「国語への関心・意欲・態度」と「書く能力」の観点で全国を上回っており、「読む能力」で12ポイント下回っています。

3年生については、5観点全部で全国を上回っており、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」の3観点で100%の正答率でした。

4年生についても、全観点で全国をかなり上回っています。特に、「話す・聞く能力」では正答率が100%でした。

5年生では、「読む能力」以外の4観点で全国を上回っています。

全体的に、「読む能力」に弱さがありますので、まとまった文章を読んで内容やキーワードを理解し、問われていることをしっかり理解した上で答えるという学習に根気強く取り組んでいくことが必要だと考えられます。

○算数については、

算数は、全国より-1.6ポイント

観点別に見ると、2年生は「数量や図形についての技能」は全国を少し上回っていますが、それ以外の3観点（「算数への関心・意欲・態度」「数学的な考え方」「数量や図形についての知識・理解」）で、全国より下回っています。特に、「算数への関心・意欲・態度」は-26ポイントでした。

3年生については、全観点で全国をかなり上回っています。

4年生については、「算数への関心・意欲・態度」で4.2ポイント上回っていますが、それ以外の3観点は全国平均と同じくらいです。

5年生は、「算数への関心・意欲・態度」「数学的な考え方」「数量や図形についての知識・理解」の3観点で全国より下回っています。

学年が進むにつれて、学習内容が難しくなってきますので、基礎的・基本的な問題を速く、正確に解く反復練習を行っていくこと、活用・応用問題にもあきらめずに取り組む場をたくさん設定していく必要があると考えます。

○理科については、

理科は、全国より-3.2ポイント

観点別に見ると、4年生は、「観察・実験の技能」の観点で-15ポイントほどですが、「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考・表現」「自然事象についての知識・理解」の3観点で全国平均と同じくらいか全国平均より少し上回っています。

5年生は、特に、「自然事象への関心・意欲・態度」で全国平均を下回っていました。

理科の授業では、理科の観察・実験の仕方を工夫し、児童が意欲的に授業に参加するしかけを作っていくこと、観察・実験してわかったことをわかりやすくまとめたり、まとめたことを人にしっかりと伝えるように表現したりする活動を取り入れていくことが大事だと考えます。

◆全国学力調査（正答率）の結果について（2015年度）〈6年生で実施〉

※A問題は基礎的・基本的な問題で、B問題はその基礎的・基本的な力の活用（思考、判断、表現）力を問う問題です。

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
拳ノ川小学校	54.3	60.0	72.5	32.3	60.0
高知県	73.4	67.0	77.0	44.6	60.3
全国	70.0	65.4	76.2	45.0	60.8

○国語については、

国語Aは、高知県より－19.1ポイント、全国より－15.7ポイント

国語Bは、高知県より－7ポイント、全国より－5.4ポイント

A問題もB問題も高知県及び全国よりかなり低い正答率となっています。

特に、基礎的・基本的な力を問うA問題で正答率が低く、漢字の読みは100%の正答率であるのに対し、漢字を正確に書くことが苦手な児童や、主語や述語といった基本的な文のきまりを正確に覚えていない児童もいます。また、まとまった文の意味を読み取ることが充分できていない児童もいます。そのため、B問題に出題されているような、活用力を問う、さらに長い文章問題では、その内容を正確に読み取った上で、条件に基づいてまとまった文を書くということが充分にできていませんでした。ただ、全問題無回答率は0%でしたので、難しい問題にもあきらめずに挑戦し何らかの解答を書いていることがわかります。

領域別に見ると、A問題では「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が、B問題では「読むこと」が全国と高知縣を下回っていました。

基礎的・基本的なことは、正確にできるように繰り返し学習すること、分からない言葉や漢字に出合ったら辞書を活用し、自分で調べる習慣をつけること、日々の授業の中では、「なぜそうなるのか、なぜそう考えるのか」等を投げかけ、理由を書いたり言ったりする活動をできるだけ取り入れること、また、授業の終わりには、「振り返り」を書かせることなどを継続してやっていきたいと思います。

○算数については、

算数Aは、高知県より－4.5ポイント、全国より－3.7ポイント

算数Bは、高知県より－12.3ポイント、全国より－12.7ポイント

A・B問題ともに高知県及び全国より低い正答率となっています。

領域別に見ると、A問題では、「図形」「数量関係」で全国と高知縣を5ポイントほど上回っているものの、A問題の「量と測定」、B問題の、「数と計算」以外の3領域（「量と測定」「図形」「数量関係」）で、全国と高知縣をかなり下回っています。ただ、B問題の2問以外は、無回答率が0%でしたので、国語と同様、問題に最後までチャレンジしていたことがわかります。

昨年度から引き続き、基礎的な問題を繰り返し、速く、正確に解くことに慣れること、情報を基にして条件に合う答えを求めるような応用問題にどんどんチャレンジしていくことが必要であると思われます。

○理科については、

高知県より－0.3ポイント、全国より－0.8ポイント低い結果で、ほぼ平均正答率と同じです。

主として「知識」に関する問題では、高知県より7.0ポイント、全国より7.6ポイント上回っていましたが、主として「活用」に関する問題では、高知県より4.7ポイント、全国より5.8ポイント下回っていました。評価の観点別で見ると、「自然事象についての知識・理解」

で、高知県より15.9ポイント、全国より16.4ポイント上回っています。一方で、「科学的な思考・表現」では高知県より4.7ポイント、全国より5.8ポイント下回っています。

実験器具の名称や操作方法等に関するような基本的な問題を間違えたり、自分が選んだ答えについてその理由を書くというような記述式の問題で間違いが多くなっています。

実験や観察等の実際の体験を通して、基礎的な知識や技術をしっかり身につけるとともに、実験や観察の結果について分析したり、その結果が現れる理由を考えて記述できるようになることが求められています。

◆学習状況調査について

本校の肯定的評価（当てはまる・どちらかと言えば当てはまる）が、100%のものは下記のとおりです。

○生活習慣：「朝食を毎日食べていますか」

「毎日同じくらいの時間に起きていますか」

○自尊感情：「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」

「自分には、よいところがあると思いますか」

「将来の夢や目標を持っていますか」

○言語活動：「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」

○学校行事への参加：

「家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか」

○学習習慣：「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」

「家で、学校の宿題をしていますか」

「家で、学校の授業の復習をしていますか」

○学校生活：「学校に行くのは楽しいと思いますか」

「あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っただけで学級のきまりなどを決めていると思いますか」

「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」

○社会的関心「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」

「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」

○規範意識「学校のきまりを守っていますか。」

「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

○授業への関心

「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか」

「5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」

「5年生までに受けた授業では、学級の友達と話し合う活動をよく行っていたと思いますか」

「5年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか」

「5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」

「5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか」

「国語の勉強は大切だと思いますか」

「国語の授業の内容はよくわかりますか」

「読書は好きですか」

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

「算数の勉強は大切だと思いますか」

「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」

「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

「理科の勉強は大切だと思いますか」

「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか」

「観察や実験を行うことは好きですか」

「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」

どの子ども、夢や目標を持ち、自分も友達も大事にしながら、前向きな気持ちで学習や生活を送っていると思われます。また、地域との関わりを大事にした学校行事も多いため、社会や地域への関心も高いです。教科については、苦手意識を持っているため「好きだ」と肯定的に答えられなかった子どももいますが、全員がそれらの教科の勉強は大切であり、将来役に立つと考えているのが分かります。全員が前向きな気持ちで学校生活を楽しみ、規範意識も高いと思われます。

◆標準学力調査・全国学力調査の結果分析をもとにしたこれからの取り組み

- 1 「地域をつなぐ！子どもが伸びる！ユニバーサルデザインによる学校はぐくみプロジェクト事業（特別支援教育を柱に据えた学校づくり事業）」指定校として、ユニバーサルデザインに基づく授業について研究を続けます。（指導案検討会、研究授業の実施）
- 2 授業ノート、自主学習ノートの書き方についての指導を継続します。
手を挙げてよく意見を言える子どもたちですが、それを本当の学力につなげていくために、「書く活動」をしっかり行っていきたいです。授業ノートには、板書していることを写すだけでなく、自分が「わかったこと」「気づいたこと」「疑問に思ったこと」「調べようと思うこと」「調べたこと」などもどんどん書きこんでいくなど、自分の力が伸びていくような工夫をさせていきたいと思っています。そして定期的に子どもたちのノートを点検し、評価やアドバイスを行っていく予定です。
- 3 帯タイムで実施している「漢字タイム」「計算タイム」の時間に、子どもたちの課題に合った学習プリントを作成し活用していきます。
- 4 発表朝会・綴り方集会の取り組みを継続し、発表力・表現力を伸ばすための工夫をします。生活朝礼の中で、「English Time」をとり、簡単な英語のあいさつをはじめ様々な英語の表現に親しませていきます。
- 5 月1回ずつ8：00から30分間行っている「自主学習タイム」と「算数タイム」の効果的な活用方法を考え実施していきます。子どもたちの課題に合ったプリント等を用意します。
- 6 放課後の加力学習を継続していきます。（個別指導の工夫）
 - ・加力学習の指導内容を焦点化します。

- ・マンツーマンで、一人ひとりの実態に合った学習ができる個別指導を行っていききたいと思いをします。
 - 7 読書の年間目標・学期ごとの目標を全員が達成できるように声かけを続けます。(読書の内容についても考えていきたいです。)
 - 8 日々の授業の中で、授業改善に努めます。
- 国語：
- ・基礎的・基本的なことは、正確にできるように問題を反復練習させる。
 - ・分からない言葉や漢字に出ったら辞書を活用し、自分で調べる習慣をつけさせる。
 - ・「なぜそうなるのか」「なぜそう考えるのか」等を子どもたちに投げかけ、理由を書いたり言ったりする活動をできる限り行う。
 - ・授業の終わりには、「振り返り」を書かせることを継続する。
 - ・過去問題等を活用して、長文読解や条件作文、文章問題等に慣れさせる。(時間の確保、練習問題の準備、評価の工夫)
- 算数：
- ・基礎的な問題を繰り返しやり、速く、正確に解くことに慣れさせる。
 - ・分かっていること、問われていること、単位に必ず色鉛筆で線を引かせる。
 - ・情報をもとにして、条件に合う答えを求めるような応用問題にチャレンジさせる。
- 理科：
- ・実験や観察等の実際の体験を通して、基礎的な知識や技術をしっかり身につけさせる。
 - ・実験や観察の結果について分析をしたり、その結果が現れる理由を考えて記述できるよう指導する。
- 8 各学年で児童の課題に関連のある単元で三学期に公開授業を行い、職員がお互いの授業を見合って意見交換をします。

学校ではどの子ども、得意なことはさらに伸ばし苦手なことは少しでも克服していけるように、日々の取り組みを工夫していきたいと思いをします。各ご家庭でも、時間を決めて家族みんなで読書をしたり、ときには子どもたちのノートの内容を見たりしてあげてください。

子どもたちの成長のためご協力をよろしくお祈いします。

☆子どもたちの自主ノートの紹介

千愛さん(6年生)

沙桜さん(4年生)

玲桜くん(1年生)

